

“活かそう水辺、つなごう流れ” 大和川・淀川流域連携水環境交流会 2003

日時：平成 15 年 8 月 3 日（日）

場所：布目ダム桐山さざなみ広場（奈良県山添村）

参加者：安田夫妻、安田悠馬君、佐藤夫妻、辰谷さん、西川さん、足立（水の塾）、山田さん（大阪府）、長井さん、黒川さん、鯨本さん、広瀬さん（日本ミクニヤ(株)）

開会宣言

・朝早くから、山添村役場、水資源開発公団、摂南大学のスタッフが、テント設営、駐車場整備、ボート組み立て等を行なっていただき、無事時間どおりスタート。



実行委員長の澤井さん



司会の佐藤侑美さん

湖辺清掃、草刈り（9：00～9：30）

・去年の神崎川に比べて、ゴミは少なかった。

望ましい水面利用の実践（9：30～15:00）

・午前中は、「新企画！！君は布目ダムで何を見つける??」で、Eボートを使って、クイズや水深調査など新しいプログラムが行われました。誰でも楽しめるプログラムで、タイトルどおりの望ましい水面利用の実践になりました。

・フジタカヌーによる、カヌー試乗会もありました。いろいろな種類のカヌーに乗れて、とてもいい体験ができました。

・Eボートレースでは、17チームが参加し、とても白熱しました。水の塾は、予選を5位ぎりぎり通過し、決勝ではなんと2位になり、大いに健闘しました。参加者の声を以下に紹介します。

（参加者の声）

「私は、当日昼からの、土壇場参加・・・。
たまたま1人足りないということで、練習もせず乗せて頂きました。



丘からの妻子の応援で、久しぶりに頭真っ白になって、がんばりました！」（安田さん）

「かねてから乗ってみたいと思っていたEポート。今回のレース出場で、その面白さを満喫することができました。

意外に大きな船体が、意外に速く走る面白さ。漕ぎ手の微妙な力加減や息の合い方によって変わる舳先の進路。

一番前に乗ったので、水の上をすべる爽快さを十分に楽しめました。

おまけにすべりこんだ決勝戦で2位という快挙もなしとげて、足立さんに『勝利の女神』とお世辞をいってもらい、私のEポート初体験の一日は『クセになりそう』な予感で終わったのでした。

来年は石川の下流の柏原で開催するとか…。今から楽しみにしています。」（寺川さん）

「初めてEポート大会に参加させていただきました。病み上がりではありましたが、それを忘れるくらいに白熱したレースとなりました。その甲斐あって、予選5位から見事決勝戦では準優勝を勝ち取りました。来年はぜひ優勝を目指しましょう！！」（長井さん）



司会の仕事の合間に夫婦水入らずで、水上デートの1コマ

かなり遠くまで漕ぎだし、十分に二人の時間を過ごされたようです。

みんなからは、むかひの陸地に上陸して、どこかへいってしまうんじゃないかとうわさも・・・。

施設・史跡見学（15:00～16:00）

- ・布目ダム説明ホールで、布目ダムや周辺石仏群についてのお話を聞きました。
- ・布目ダムは、利水を目的としたダムで洪水調整機能はないとのこと。
- ・水質浄化のためのばっき施設の説明も受けました。
- ・そして、エレベーターでダムの底付近まで降り、水力発電施設を見学しました。約900kwの能力で、自家消費と余り分は売電しているそうです。二酸化炭素も出ない、究極の自然エネルギー利用だそうです。

（報告：足立）